

GHG排出量管理

年度	対象排出源	基準年	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
山木工業目標（削減率）		年間（%）	14.0	1.5	1.5	1.5	1.5	5.0	2.0
		累計（%）	14.0	15.5	17.0	18.5	20.0	25.0	27.0
売上高（億円）		42.31	34.83	36.74					
Scope1 (t-CO2)	軽油・灯油・ガソリン・重油	789.4	602.7	648.1					
Scope2 (t-CO2)	電気	111.8	34.1	72.7					
計 (t-CO2)		901.20	636.77	720.80					
売上原単位 t-co2/億円		21.30	18.28	19.62					
累計削減率（%）			14.10	7.80					

年度	対象排出源	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	14年目	15年目
		2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度	2035年度	2036年度
山木工業目標（削減率）		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.5	5.0	2.5
		29.0	31.0	33.0	35.0	37.0	39.5	44.5	47.0
売上高（億円）									
Scope1 (t-CO2)	軽油・灯油・ガソリン・重油								
Scope2 (t-CO2)	電気								
計 (t-CO2)									
売上原単位 t-co2/億円									
累計削減率（%）									

GHG排出量の増減分析

- ・本社事務所のストーブを廃止し、エアコンによる空調に変更、灯油（Scope1）の消費量が減少し、電気（Scope2）が増加した。
- ・船舶による物品運搬事業の増加による重油消費が増加。
- ・遠隔現場対応によるガソリン消費量の増加。

GHG排出量削減への取組

- ・省エネを考慮した新起重機船の建造開始。（2024/01起工）
- ・現場における仮設電気のCO2フリー基本契約の締結、2024年度より運用開始。

2024/05現在 新起重機船 建造状況

